

## 三島航路のカツオドリ

フェリーみしまは、鹿児島南埠頭と三島村の三島（竹島、硫黄島、黒島）を結ぶ定期船です。7月中旬に、この船に乗る機会がありましたが、鹿児島湾の入口から竹島までの区間で、航行する船に並ぶように飛行するカツオドリ類に遭遇しました。時々、空中から海へダイビングし、餌である小魚を捕獲する様子を甲板上から間近に観察することができました。今回は、カツオドリ類の概要と目撃した3種のカツオドリを紹介したいと思います。

### カツオドリ類について

カツオドリ類はカツオドリ目カツオドリ科の9種からなる大型の外洋性の海鳥で、主に熱帯、亜熱帯海域に生息しています。日本では、主にカツオドリ、アカアシカツオドリ、アオツラカツオドリの3種が生息しています。

ところで、“カツオドリ”は、漢字で“鰹鳥”と記しますが、漁師が「カツオの居所を教えてくれる鳥」と考えていた海鳥たちのことを指します。

カツオのような大型の魚は、餌である小魚を海面近くまで追うことができますが、カツオドリもこのような小魚を餌として、海上から狙います。カツオドリが海面近くの小魚の群れを狙い、洋上に集まると、結果としてその下に控えるカツオの群れの存在を知らせることになります。

### カツオドリ



全長約 70cm の海鳥で、背面は黒褐色、下面は白色、くちばしは淡緑黄色とかなり独特な風貌を持ちます。鹿児島においては、今回目撃された海域から近い草

垣群島やトカラ列島で繁殖が確認されており、主に繁殖地付近で目撃されるのですが、冬季には本土の海岸や漁港でも観察できます。今回は4羽目撃しました。

### アカアシカツオドリ



全長約 75cm の海鳥で、カツオドリと異なり、全身は白く、赤い足を持ちます。また、羽の一部は黒、くちばしは青白色で、その根元がピンク色をしています。

フェリーみしまの航路上では時々目撃されているようで、今回は2羽を目撃することができました。

### ナスカカツオドリ



太平洋東部のメキシコからペルー沖に分布する全長約 75cm の海鳥。全身が白く、オレンジ色のくちばしを持ち、基部付近がピンク色をしていることが特徴です。今回は、1羽を目撃しました。

この海鳥は、日本では極めて稀な種で、目撃例もあまりありません。鹿児島においては、2020年1月、内之浦での飛来報告と、2019年3月の撮影記録がありました。この写真の同定に間違いがなければ、鹿児島での稀少な報告になるかもしれません。

陸上からの観察が難しい海鳥を探しに、時には船旅はいかがでしょうか。